



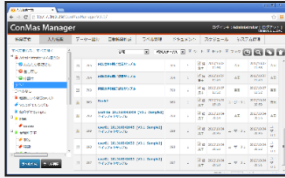
i-Reporter

**基本操作講習会 活用編：カスタムマスター
(マスターの登録と更新)**

Rev.1.0.0 2023.12.12

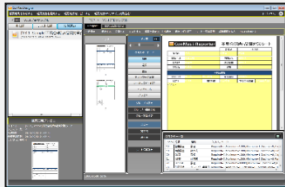
CSV形式のファイルを作成し、ConMas Managerを使ってサーバーに登録します

手順1 マスターの登録・更新



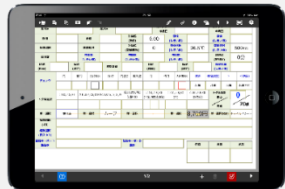
- ・ カスタムマスターとして使用するデータを「CSV形式」で作成し、ConMas ManagerからConMas Serverに新規登録（「カスタムマスター定義用Excelブック」を使用*）
- ・ カスタムマスターの更新（CSV形式でファイルを作成）

手順2 クラスターとの関連付け



- ・ 「マスター選択クラスター」で起動するカスタムマスターを設定
- ・ カスタムマスターを起動してレコードを選択した際、マスター選択クラスターに入力する「フィールド」を設定
- ・ カスタムマスターを使用した入力を行う各クラスターと、マスター内の各フィールドとの関連付けを設定

手順3 カスタムマスターを使った入力

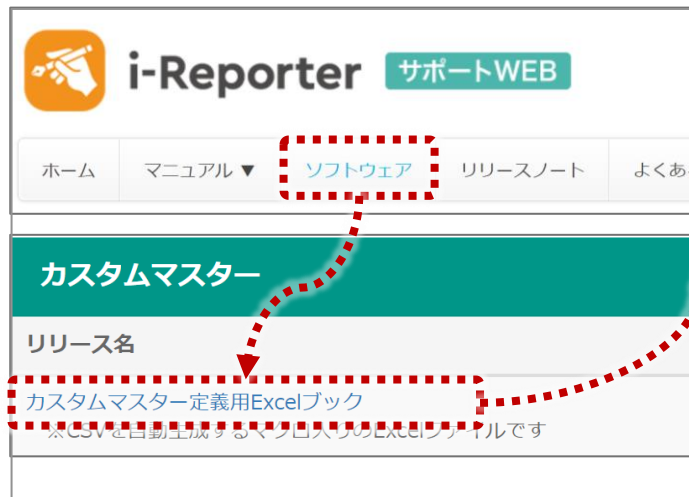


- ・ タブレットでの入力操作

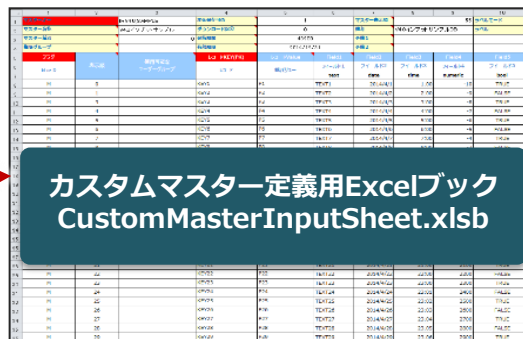
* お客様自身で「カスタムマスター取り込みCSVレイアウト」が作成できる場合は、「カスタムマスター定義用Excelブック」をお使いいただく必要はありません。

前ページの「手順1」のイメージ

- 登録用に「カスタムマスター取り込みCSVレイアウト」を作成し、これをConMas Managerでサーバーに登録します。
 - このCSVレイアウトを簡単に作成できる「カスタムマスター定義用Excelブック」をサポートWebに公開しています。
- この資料では、「カスタムマスター定義用Excelブック」を使った手順をご案内します。



ダウンロード



ファイル起動時「セキュリティの警告」が表示される場合は、[コンテンツの有効化] を選択してください。



カスタムマスター定義用Excelブックの操作と登録

①新規登録

「基本情報」と「レコード情報」を設定します

個々のファイルを一位として認識するための「マスターキー」や、i-Reporterアプリへのダウンロード方法の設定といった「基本情報」の設定と、入力で使用するレコード（クラスターに入力する情報が記載されている行）の設定を行います。

カスタムマスター定義用Excelブックの入力例

M or D	表示順	使用可能なユーザーグループ	親バリュー	フィールド1 text	フィールド2 date	フィールド3 time	フィールド4 numeric	フィールド5 bool	Field6	Field7	Field8	Field9	Field10	Field11	Field12	Field13
M	1		KEY1	P1	TEXT1	2014/4/1	1:00	-10	TRUE							
M	2		KEY2	P2	TEXT2	2014/4/2	2:00	-9	FALSE							
M	3		KEY3	P3	TEXT3	2014/4/3	3:00	-8	TRUE							
M	4		KEY4	P4	TEXT4	2014/4/4	4:00	-7	FALSE							
M	5		KEY5	P5	TEXT5	2014/4/5	5:00	-6	TRUE							
M	6		KEY6	P6	TEXT6	2014/4/6	6:00	-5	FALSE							
M	7		KEY7	P7	TEXT7	2014/4/7	7:00	-4	TRUE							
M	8		KEY8	P8	TEXT8	2014/4/8	8:00	-3	FALSE							
M	9		KEY9	P9	TEXT9	2014/4/9	9:00	-2	TRUE							
M	10		KEY10	P10	TEXT10	2014/4/10	10:00	-1	FALSE							

操作時に色が付いているセルにマウスをのせると、コメントが表示されます

次ページ以降の内容と、コメントを参照しながら設定を行ってください。

フラグ	表示順	使用可能なユーザーグループ	レコードKEY(UK)	レコードValue	Field1	Field2	Field3
M or D			親バリュー		フィールド1 text	フィールド2 date	フィールド3 time
M	1		KEY1	P1	TEXT1	2014/4/1	1:00
M	2		KEY2	P2	TEXT2	2014/4/2	2:00

設定する情報 ①基本情報

「基本情報」入力部分

マスターキー	IRV4.0_SAMPLE	本体保存可否	1	マスター表示順	55	ラベルモード	0
マスター名称	V4.0インプットサンプル	ダウンロード区分	0	備考	V4.0インプットサンプルDB	ラベル	[icon=3]Label_A/LabelA-1;[i
マスター種別	0	保持期間	43200	予備1			
権限グループ		有効期限		予備2			

項目	入力時の留意点など
マスターキー	必須事項です。文字列で入力してください。
マスター名称	文字列で入力してください。指定がない場合は、マスターキーの内容が適用されます。
マスター種別	0を選択します（1は未使用です）。
権限グループ	参照可能グループを設定する場合、グループ番号を入れます。複数の場合は番号をセミコロン（;）で区切ります。
本体保存可否	使用する端末への保存の可否を設定します。0（不可）1（可能）です。
ダウンロード区分	ダウンロードする場合のルールを設定します。0（自動ダウンロード）1（手動ダウンロード）です。
保存期間	タブレット等の端末上に保存できる期間を、分単位で設定できます（設定しない場合は、空白とします）。
有効期限	有効期限を、年/月/日で設定できます（設定しない場合は、空白とします）。
マスター表示順	カスタムマスターの表示順位設定です。0からの数値で入力します（設定しない場合は、空白とします）。
備考	カスタムマスターに関する備考情報を入れる事ができます。文字列で記入します（未入力でも構いません）。
ラベルモード	カスタムマスターに設定済のラベルを削除する事ができます。0（何もしない）1（削除する）です。
ラベル	保存時にラベルを作成する場合に、ラベルの色選択や設定する名称の内容を予め設定できます。

講習時の操作

「マスターキー」に「MasterXX」、「マスター名称」に「社員マスターXX」を入力します（「XX」はログインID内の2桁の数字）。

設定する情報 ②レコード情報（各レコードの設定情報）

「レコード情報」入力部分（その1）

① フラグ	② 表示順	③ 使用可能な ユーザーグループ	④ レコードKEY(UK)	⑤ レコードValue
M or D				親バリュー
M	1		KEY1	パ1
M	2		KEY2	パ2
M	3		KEY3	パ3

レコード行

No.	項目	内容
①	フラグ	入力したレコードの処理内容を入力します。 M : マージ動作（新規に作成/編集し更新するとき） D : 削除動作 空欄 : レコード作成しない（更新時に変更がないとき）
②	表示順	各レコードの表示順を、0～の数値で指定します（未入力可）。
③	使用可能なユーザーグループ	参照可能グループを；で区切り指定します（未入力可）。
④	レコードキー	レコード行間で重複しないユニークキーを文字列で設定します。 ※フラグが空欄でない場合には、必ず指定してください
⑤	レコードバリュー	文字列で設定します（未入力可）。

講習時の操作

ファイル内のレコードは、見やすい行数（5行程度）に減らして構いません。
レコードバリューは、「親バリュー」「KEY～」いずれも空欄にしてください。他は入力不要です。

設定する情報 ②レコード情報（各レコードにフィールドを設定）

「レコード情報」入力部分（その2）

Field1	Field2	Field3	Field4	Field5
フィールド1	フィールド2	フィールド3	フィールド4	フィールド5
text	date	time	numeric	bool
TEXT1	2014/4/1	1:00	-10	TRUE
TEXT2	2014/4/2	2:00	-9	FALSE
TEXT3	2014/4/3	3:00	-8	TRUE
TEXT4	2014/4/4	4:00	-7	FALSE

フィールド名称

文字列で入力します（未入力可）。

フィールド型

入力を行うクラスターの種別に対応するための「型」を定義します。
※ 型とクラスターの関連は、下記の表をご参照ください

フィールド

「フィールド型」の種類に合わせて、以下の書式で値を設定します。

text :文字列
date :yyyy/MM/dd書式
time :hh:mm
numeric :数値
bool :TRUE / FALSE

フィールド型	関連付け可能な「クラスター種別」
text	キーボードテキスト、手書きデジタル
Numeric	数値、時間数
Date	年月日、カレンダー年月日
Time	時刻
Bool	チェック
image	フリードロー、画像、手書きフリーメモ

【ご参考】 1レコードに設定できるフィールドの数は100までです。

講習時の操作

「Field1」の列で、
フィールド名を「フィールド1」から「社員氏名」に、「TEXT1」以下のフィールドは任意の文字に変更します。

レコード情報 参考（画像付きのマスターを作成する場合）

- ・ 画像ファイルをカスタムマスターで使用する場合は、「カスタムマスター定義用Excelブック右側」にある「Image」のフィールドに、画像ファイルの「ファイル名と拡張子」を入力します。
 - ・ 1レコードに設定できる画像ファイルの数は5個までです。
- また、使用可能なファイルは画像ファイル（JPG、PNG等）となります（PDFファイルは使用できません）。

「レコード情報」入力部分（ファイルの右側）

Image01	Image02	Image03
画像01	画像02	画像03
Image01.jpg		
Image02.jpg		
Image03.jpg		

画像フィールド名称

文字列で入力します（未入力可）。

ファイル名

画像ファイル名を拡張子付きで入力します（未入力可）。

この部分は、講習時の操作は行いません

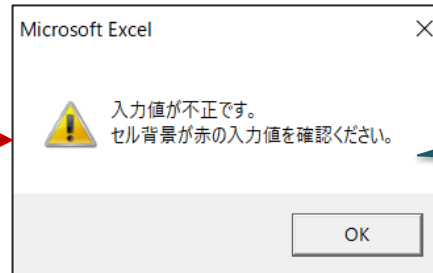
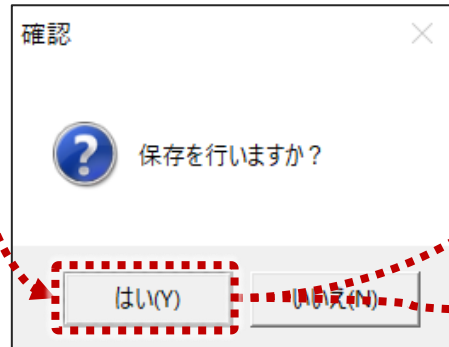
画像付きのマスターを準備する場合は、上記の内容が反映された「CSVファイル」と「画像ファイル」をまとめた「Zipファイル」を作成し、サーバーに取り込みます（14ページ参照）。

CSVファイルの保存

「カスタムマスター定義用Excelブック」にある処理ボタン

Load	<- アップロード用CSVファイルから読込
Save	<- アップロード用CSVファイルへ保存

「Save」ボタンをクリック



不正な入力値が存在した場合、メッセージが表示されます (該当セルが赤く表示されます)

講習時の操作

上記の流れに沿って、保存してください。保存先はデスクトップなど、わかりやすい場所を選択してください。ファイル名は、「マスターキーに設定した文字列」と「保存操作を開始した年月日時刻」で生成されます。

作成したCSVファイルの登録 ①ConMas Managerの起動とメニューの表示

ConMas Managerにログインし、「カスタムマスター」タブをクリックして管理画面の表示に切り替えます。

続けて、画面右上の「カスタムマスターメンテナンス」アイコンをクリックし、CSVアップロード画面を表示します。

The screenshot shows the ConMas Manager interface. At the top, it displays 'ログイン中 : am51 [ログアウト]' and 'Version:8.0.21010'. Below this is a navigation bar with 'カスタムマスター', 'カスタムメニュー', and 'システム管理'. A dropdown menu is open, showing '期限切れを表示しない'. A red dashed box highlights an icon in the top right corner, which is pointed to by a red dashed arrow. A callout box with a white background and a blue border contains the text: 「カスタムマスターメンテナンス」をクリックします. Below the navigation bar, there is a table with columns for '登録日時' and '登録者'. The table shows one entry with '登録日時' as '2018/06/16 15:45' and '登録者' as 'cimtops'. To the right of the table, there is a 'ConMas Manager' header and a navigation bar with '帳票定義', '入力帳票', 'データ出力', '自動帳票作成', 'ラベル管理', '図書管理', 'スケジュール', and 'カスタムマスター'. Below this, there is a 'カスタムマスターメンテナンス' section with a 'CSVアップロード' sub-section. The 'CSVアップロード' section has a 'ファイル形式' dropdown set to 'CSV', an 'Encoding' dropdown set to 'shift_jis', and a checkbox for 'ラベルの位置設定' which is unchecked. Below this, there is a 'ファイルを選択' button and the text '選択されていません'. At the bottom of the 'CSVアップロード' section, there are '登録' and 'キャンセル' buttons.

講習時の操作

上記の流れに沿って、保存してください。

※ アイコンが表示されない場合は、ログインIDが本日使用するものと異なる場合です、確認して再度ログインを行ってください。

作成したCSVファイルの登録 ②ファイルの指定と登録

- ファイル形式は「CSV」、EncodingはアップロードするCSVファイルのエンコードを指定します。
※ 画像フィールドに画像をセットする場合は、ファイル形式に「CSV_ZIP」を指定します。
- ファイルを選択して「登録」ボタンをクリックすると、アップロードが開始され「処理中」の表示が出ます。

ConMas Manager ログイン中: am51 [ログアウト]
Version:8.0.21010

帳票定義 入力帳票 データ出力 自動帳票作成 ラベル管理 図書管理 スケジュール カスタムマスター カスタムメニュー システム管理

カスタムマスターメンテナンス

▼CSVアップロード

ファイル形式 CSV
Encoding shift_jis
ラベルの位置設定 ※チェックすると アップロードファイル中の"ラベル"が階層設定されていた場合に、一番下のみラベルが付きます。
ファイルを選択 選択されていません

登録 キャンセル

ファイル形式で「CSV」を選択し、続いて「ファイルを選択」から、保存したCSVファイルを指定します
(選択したファイルの名称は、ボタン横に表示されます)

ConMas Manager ログイン中: am51 [ログアウト]
Version:8.0.21010

カスタムマスターメンテナンス

▼CSVアップロード

ファイル形式 CSV
Encoding shift_jis
ラベルの位置設定 ※チェックすると アップロードファイル中の"ラベル"が階層設定されていた場合に、一番下のみラベルが付きます。
ファイルを選択 user/Custo...
正常に取込みました。

処理中...

講習時の操作

PCに保存したCSVファイルを選択した後、上記の流れに沿って登録してください。

「ファイルを選択」ボタン下に「正常に取込みました」が表示されれば、処理が終わった状態です。

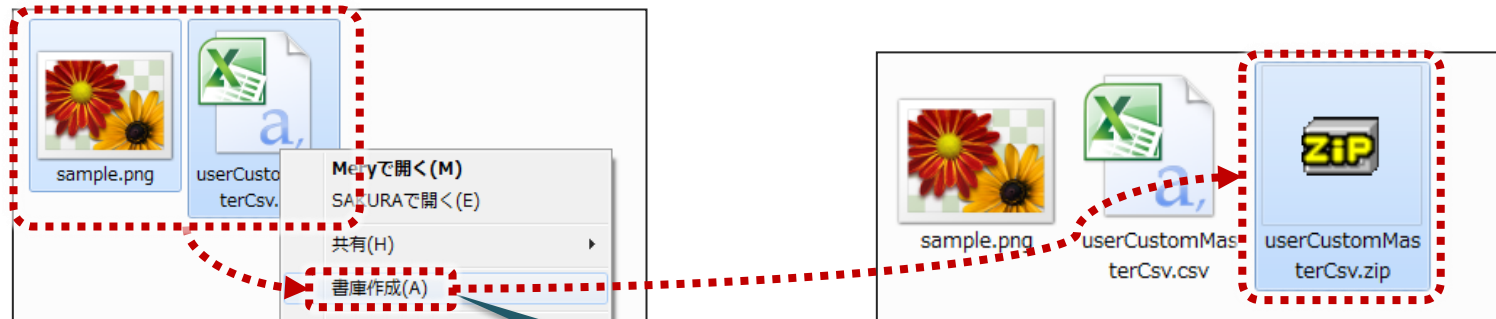
The screenshot shows the 'ConMas Manager' interface. The top navigation bar includes 'カスタムマスター' (Custom Master) and 'システム管理' (System Management). The main content area is titled 'カスタムマスターメンテナンス' (Custom Master Maintenance) and features a 'CSVアップロード' (CSV Upload) section. In this section, the 'ファイル形式' (File Format) is set to 'CSV' and 'Encoding' is 'shift_jis'. A message below the form states: 'ラベルの位置設定 ※チェックすると、アップロードファイル中の"ラベル"が階層設定されていた場合に、一番下にのみラベルが付きます。' (Label position setting ※If checked, when the "label" in the uploaded file is set with a hierarchy, the label will only be attached to the bottom one). The 'ファイルを選択' (Select File) button is disabled with the text '選択されていません' (Not selected). A red dashed box highlights the message '正常に取込みました。' (Successfully imported.). At the bottom of the form are '登録' (Register) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

講習時の操作

上記の表示の確認後、画面上の「カスタムマスター」タブをクリックして一覧画面に移動します、ご自身のマスター（名称が「社員マスターXX」）のマスター名称をクリックして、プレビューに準備した内容が反映されているか、ご確認ください。

【補足】レコード情報に画像ファイルを使用する場合

PC上の操作で、「画像ファイル名のデータを含むCSVファイル」と「画像ファイル」を同時に選択し、Zip圧縮処理を行います。



Zip圧縮

※圧縮方法はご利用の端末によって異なります。

作成したZipファイルをConMas Managerにファイルをアップロードする際は、「ファイル形式」を確認して登録します。



ファイル形式は“CSV_ZIP”を選択

この部分は、講習時の操作は行いません

カスタムマスター定義用Excelブックの操作と登録

②登録済みのカスタムマスターの更新

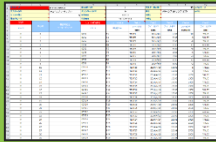
カスタムマスターの更新を行う場合の流れ

更新したCSVファイルを、サーバーに登録します。



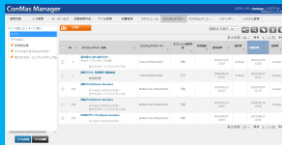
STEP 1 CSVファイルの出力

ConMas Managerから、修正を行うCSVファイルを取り出します。



STEP 2 CSVファイルの編集

出力したCSVファイルを「カスタムマスター定義用Excelブック」に取り込み、編集を行います。



STEP 3 CSVファイルの登録

STEP2で修正したCSVファイルを、ConMas Managerから登録します。

【ご参考】 CSVファイル作成がご自身で可能な場合（例：自動生成プログラムをご用意いただく、等）、そのファイルを上記のSTEP3の手順で登録すれば、更新できます（カスタムマスター定義用Excelブックを使用する事が必須ではありません）。

CSVファイルの出力

- ConMas Managerの「カスタムマスター」メニューで、ダウンロードするカスタムマスター名称の左側にある「チェックボックス」に入力します。
- 画面左上にある“CSV”ボタンをクリックすると、CSVファイルのダウンロードが開始されます。
※「カスタムマスター情報」画面からもCSVをダウンロードする事が可能です。

ID	カスタムマスター名称	カスタムマスターキー	タブレット保存可否	有効期限	登録日時	登録者	更新日時	更新者
<input checked="" type="checkbox"/>	顧客マスタ_年間保守-担当支店 修理報告書	CustomerMaster001	不可		2018/06/16 15:45	cimtops	2021/05/06 14:18	am51
<input type="checkbox"/>	商品マスタ(Demo Sample) デフォルトカスタムマスター 全クラスターインプットサンプル	BuiltInCustomMaster001	可能		2014/05/13 10:00		2018/06/16 15:45	cimtops
<input type="checkbox"/>	ROBOTサンプル(Demo Sample) デフォルトカスタムマスター	BuiltInCustomMaster003	可能		2015/04/27 10:00		2015/04/27 10:00	



出力は1ファイルのみ実行可能です。チェックが「1つだけ」になっているか、ご確認ください。

講習時の操作

ご自身のマスター（名称が「社員マスターXX」）のチェックボックスに入力後、上記の操作で出力を行います。

カスタムマスター定義用Excelブックへの取り込み

- 「カスタムマスター定義用Excelブック」にある「Load」ボタンをクリック後、取り込むCSVファイルを選択します。
- ロードした確認のダイアログが表示されますので、「OK」をクリックします。

The screenshot illustrates the workflow for loading a CSV file into a custom master definition Excel book. It shows the following steps:

- The user is in a software interface with a data table. A red dashed box highlights the **Load** button, with a callout: **Load** ← アップロード用CSVファイルから読込.
- The user selects a file named **userCustomMaster.csv** in a file selection dialog. A red dashed box highlights the file, with a callout: **userCustomMaster.csv**.
- A confirmation dialog asks: **読込を行いますか?** (Do you want to load?). A red dashed box highlights the **はい(Y)** button, with a callout: **はい(Y)**.
- The user clicks **OK** in a Microsoft Excel dialog that says: **53行をロードしました** (Loaded 53 rows). A red dashed box highlights the **OK** button, with a callout: **OK**.
- The final Excel spreadsheet shows the loaded data. A blue callout box at the bottom right says: **ダウンロードしたCSVが展開されます** (Downloaded CSV is expanded).

Field2	Field3	Field4	Field5	Field6	Field7	Field8	Field9	Field10	Field11	Field12	Field13
フィールド2	フィールド3	フィールド4	フィールド5	フィールド6	フィールド7	フィールド8	フィールド9	フィールド10	フィールド11	フィールド12	フィールド13
date	time	numeric	bool								

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
マスターキー	MSTJITEM	本体保存可否	1	マスター表示順	2	ラベルモード			
マスター名称	商品マスター	ダウンロード区分	0	備考	商品サンプル	ラベル			
マスター種別	0	保持期間		準備1					
種別グループ	20	有効期限	2014/6/30	準備2					
プラグ	表示順	使用可能なユーザーグループ	レコードKEY(PK)	レコードValue	Field1	Field2	Field3	Field4	Field5
M or D			商品コード	商品名	販売数値	販売数値	在庫数値	在庫数値	
M	100		100	商品名	9820	4650	31430	31430	
M	101				14800	7750	29605	29605	
M	11				10000	5970	3874	3874	
M	12				10000	5970	25929	25929	
M	13				10000	5970	14860	14860	
M	14				14300	7150	16300	16300	
M	15				14300	6240	28854	28854	
M	16				3980	2280	14521	14521	
M	17				3980	2280	17318	17318	
M	18				32800	21920	25801	25801	
M	19				32800	21920	23682	23682	
M	2				12800	4170	31230	31230	
M	20				32800	21920	13164	13164	
M	21				32800	21920	21390	21390	
M	22				32800	21920	5149	5149	
M	23				32800	21920	5231	5231	
M	24				19200	10380	21857	21857	
M	25				32800	10380	27076	27076	
M	26				32800	10380	2984	2984	
M	27				1490	1490	20161	20161	
M	28				1490	1490	32165	32165	

講習時の操作

本日は、この操作は割愛します（時間的な制約がある事と、操作後の表示内容が新規登録時と変化がない事から）。

レコード情報の修正（フラグの操作）

「フラグ」は、新規作成時や編集更新時には“M”フラグを、削除時は“D”フラグを入力します。

※ 変更しない時はフラグを「空白」にすることで、サーバー側のデータがそのまま残ります（差分データだけ処理）

5	フラグ		
6	M or D	表示順	使用可能な ユーザーグループ
7			
8	M	1	
9	M	2	
10	M	3	
11	M	4	
12	M	5	

フラグ M：マージ動作を行います
新規に作成するとき→M
編集し更新するとき→M
D：削除動作を行います
空欄：レコード作成を行いません
(データの変更がないとき)

講習時の操作

次ページの内容で、変更を行います。

レコード情報の修正（本日の操作内容）

フラグ	表示順	使用可能なユーザーグループ	レコードKEY(UK)	レコードValue	Field1	Field2	Field3	Field4	Field5
M or D					社員氏名	フィールド2	フィールド3	フィールド4	フィールド5
					text	date	time	numeric	bool
	1		KEY1		岩崎	2014/4/1	1:00	-10	TRUE
	2		KEY2		奥	2014/4/2	2:00	-9	FALSE
③ M	3		KEY3		村松	2014/4/3	3:00	-8	TRUE
② D	4		KEY4		岡田	2014/4/4	4:00	-7	FALSE
① M	5		KEY5		細川	2014/4/4	4:00	-7	FALSE

【ご参考】 フィールドを空欄にすると、そのレコードはCSVに出力されず、登録済のレコードはそのままマスターに残ります。
(差分データのみ処理を行う場合にご活用ください)

講習時の操作（①②③それぞれ、上記の黄色のセルの入力内容を確認します）

① レコードの追加

新規でレコードを1行追加します。フラグは「M」、表示順/レコードKEYは他のレコードと重複しない内容を入力します。

※ コピーペーストで構いません。表示順/レコードKEYの重複にご注意ください。

また、追加したことがわかるように「社員氏名」には、他と異なる任意の文字を入力してください。

② レコードの削除

削除するレコードの「フラグ」を、「D」に変更します。

※ フラグのセルで、選択できます。なおレコードを消去した場合は処理ができません。レコードはそのままにしてください。

③ レコードの更新

「社員氏名」の入力内容を変更します。この場合、フラグは「M」のままにします。

以上の操作後、「SAVE」をクリックしてCSVファイルを保存します。

作成したCSVファイルの登録

この手順は、新規登録の操作と同一です。

ログイン中 : am51 [ログアウト]
Version:8.0.21010

カスタムマスター | カスタムメニュー | システム管理

期限切れを表示しない ▾

「カスタムマスターメンテナンス」をクリックします

登録日時 | 登録者

登録日時	登録者
2018/06/16 15:45	cimtop

ConMas Manager

帳票定義 | 入力帳票 | データー出力 | 自動帳票作成 | ラベル管理 | 図書管理 | スケジュール | カスタムマスター

カスタムマスターメンテナンス

▼CSVアップロード

ファイル形式: CSV ▾

Encoding: shift_jis ▾

ラベルの位置設定 ※チェックすると、アップロードファイル中の"ラベル"が階層設定

ファイルを選択 選択されていません

登録 | キャンセル

講習時の操作

上記の流れに沿って、前ページで出力したCSVファイルを登録してください。
登録後、内容の確認を行ってください。

カスタムマスターについての詳細は、以下の各資料をご参照ください。

「カスタムマスター管理」（マスターテーブル作成方法/ConMas Managerを使った管理等）

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/manager/CustomMasterManagement_in_ConMasManager_jp.pdf

（ご参考）

「カスタムマスターテーブルの作成方法」に関するマニュアル

「ConMas Designer 帳票定義のカスタムマスター設定」（帳票定義の設定方法等）

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/designer/CustomMasterSetting_Designer_jp.pdf

「i-Reporterアプリで行う入力操作」に関するマニュアル

「ConMas i-Reporter カスタムマスターを利用した入力」（端末操作等）

https://cimtops-support.com/i-Reporter/ir_manuals/jp/ios_app/iOS_AppInput_from_CustomMaster_jp.pdf

※ご覧いただくには、「ConMas i-ReporterサポートWeb」のログインID及びパスワードが必要です。

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2023-12-12	Rev.1.0.0	--	初版を発行しました。